

## ウメ輪紋ウィルスの発生調査について

ウメやモモなどの果樹に被害を与えるウメ輪紋ウィルス(プラムポックスウィルス: P P V) は、平成21年4月に国内で初めて青梅市のウメで発生が確認されました。

農林水産省及び東京都では、発生を確認した7市町(青梅市、あきる野市、八王子市、羽村市、福生市、奥多摩町、日の出町)において、平成22年2月から植物防疫法に基づく緊急防除を開始し、宿主植物の移動禁止による封じ込めを講じるとともに、感染植物の処分による根絶を図っております。

さらに平成24年度は、緊急防除の区域以外の地域の果樹園や公園等の樹木を調べる広域調査(全国47都道府県)を実施いたします。

小平市内においても、調査を行う旨の連絡がありましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ■平成 24 年度ウメ輪紋ウィルスに関する広域調査

##### 1 期間

平成 24 年 7 月下旬から 8 月上旬

##### 2 内容

農林水産省植物防疫所及び東京都農業振興事務所の職員による調査

① 目視により葉の病徴の有無を調査

② 病徴が見られた植物について、1 植物あたり 5 枚の葉の採取し、  
詳細調査

##### 3 調査結果の公表

調査結果は、10 月を目途に農林水産省が公表する。

問合せ

市民生活部 産業振興課

課長 神山伸一

電話 042-346-9581

E-mail sangyoshinko@city.kodaira.lg.jp